

泳遊ジラウクザト

知名漁港 前利さん撮影

【沖永良部】沖永良部島の知名漁港沖でザトウクジラが泳いでいるのを知名町中央公民館勤務の前利潔さん

知名漁港沖を遊泳するザトウクジラ（前利さん撮影）

前利さんが働いている公民館は漁港が見渡せる高台にあり1、2月はしよつちゅう、3月にも時々、クジラの遊泳姿が見られるという。

17日午前11時ごろ、知人から「近くにクジラがいる」との連絡を受け、防波堤に出てカメラを構えていた。正午過ぎ、2頭のクジラを確認し、近くにいたダイバー船を含めてカメラに収めた。

ザトウクジラは大きな個体は体長20メートル、体重60トンに達する大型クジラ。全長の3分の1に達する大きな胸ビレが特徴で、地域ごとに集団を形成し、集団で移動する。フリーチングと呼ばれる壮大なジャンプも時々、見せる。

多色染めに挑戦

テーブルクロス制作

奄美市名瀬の奄美少年自然の家で15日、「ハアサキ成人講座」の第4回講座が行われた。染織工芸家の安田謙志さんを講師に、最大4色の色を使うテーブルクロスの染色に挑戦した。



完成した多色染め

「染めた後、数十秒だけ黄緑色ではフクギで藍で染めるため、数を

ハアサキ成人講座

存メディアの『縁の下力持ち』と考えている。信憑性という弱点はあるが、豪雨災害でも、新聞やテレビが見逃していた情報なども発信されたと話した。顔の見えにくいながらだが、狭い地域という点もあり、サイト上でボランティアを呼びかけ、実際に協力して被災地で活動した会員もいたという。

最後の講座となった今回は、多色染めのテーブルクロスを制作。これまでの、フクギ、チギ、藍のどれか一つを使って単色のみで染色していたが、今回はフクギの黄色、チギの茶色、藍染めの藍色、フクギと藍を合わせた黄緑色の4色

体験もラッピングのバス



奄美大島

兵庫 兵 兵庫県立須磨友が丘高校（竹内弘明校長）の2年生239人が18日から4日間、奄美大島研修旅行で来島している。19日は5班に分かれて、ダイビングや農村体験などを行った。

大高生2人を表彰

善行、イラストコン入

奄美署（溝口俊郎署長）は19日、大島高校の生徒2人へ、善行表彰状とインターネット安全絵画・イラストコンクール入賞の伝達式を行った。溝口署長が同校を訪れ表彰状を贈呈した。



表彰状を受け取った奥山さん（左）と渡邊さん（右）

奥山彩花さん（3年）は昨年、道に迷った92歳の女性に付き添い、交番へ送り届け、迅速で適切な処置を行ったことが表彰された。

【第3種郵便物認可】

『しまブログ』開設1年

豪雨災害時 貴重な情報源に

目標突破 400万アクセス

うとしていた。1年目の目標としていた、月間アクセス数300万を大幅に上回り、現在は400万アクセスを突破。昨年の豪雨災害時には、貴重な情報源となるなど、新たな可能性も見せている。



現在でも定期的に説明会を開き、会員

奄美群島を元気にする委員会（深田小次郎会長）が管理、運営する、『しまブログ』は、開設から1年を迎えよ